

# みのりの丘



発行者 袖ヶ浦市平岡公民館 〒299-0211 袖ヶ浦市野里1563-1 TEL (75) 6677

題字 松永信彌子(野里)

## みんなでつくる避難所講座

## ～ 地域人材育成講座～

地球温暖化の影響で、各地で大きな被害をもたらしている豪雨。また、台風による災害。令和元年房総半島台風による災害は、記憶に新しいところです。

また、私たちの地域では、巨大地震がいつ起きてもおかしくないと言われており、今のうちに

様々な備えをしておく必要があります。

そこで、「災害」を自分ごととして捉え、避難時や避難所において、最低限知っておかなければならない基礎知識を「みんなでつくる地域の避難所～高齢者・障がい者・女性などの視点から～」と題し、みんなで学習しました。

**第1部**は、「みんなでつくる地域の避難所」をテーマに、避難所で弱者となる高齢者・障がい者・子ども・女性について、配慮すべきことなどを教えていただきました。

また、コロナ禍における避難所設営ポイントなども詳しくお話いただきました。

### ★浅野 幸子先生★

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表  
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員



**第2部**は、3つのグループ（①備蓄倉庫のチェック、②避難所の寝床・トイレの整備、③避難所の機能・配置を考える）に分かれて体験活動をしました。



① 備蓄品を確認しました。



② トイレや段ボールベッドを作りました。ベッドのない寝床と、寝心地を比べてみました。



③ 避難者の年齢、性別、特徴などを考えながら、部屋割りや生活空間の配置などを考えました。

トイレの部品は重くて作るのに人手がいるね。地域みんなが防災について関心を持ち、災害があった時に、みんなで協力できるといいね。



※平岡公民館は「みんなでつくる地域の避難所」をテーマに、非常時に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。



## 公民館で遊ぼう

## ～スタンプラリー＆エコ素材のおもちゃづくり～



「あっ! できた できた!」



「こうすればいいんじゃない?」



ユースボランティアさん  
お手伝いどうもありがとう

7月18日に、**第1回子ども教室**を開催しました。  
今回は、子どもたちに、公民館はどんなところなのかを知ってもらうため、全館まるごと使ってスタンプラリーをしました。各部屋には、クイズや早口言葉などのミッションが用意されていて、クリアしないとスタンプがもらえないようになっていました。1年生も、お兄さんお姉さんに交じって頑張っていました!

おもちゃづくりでは、井上勝先生から、牛乳パックで簡単に作ることができる紙トンボや、ペットボトルのフタのコマなどを教えてもらって遊びました。

最後に、ペットボトルをワイングラスに見立てた「ハンカチ引き」をし、みんなで楽しみました。

開催にあたっては、袖ヶ浦高校 ユースボランティアの皆さんがお手伝いをしてくださいました。

## 平岡の REKISHI (歴史)

## ～ 永地の諏訪神社 ～



■諏訪神社本殿 (永地・推定16世紀後半)

永地地区の古くからの鎮守様で、創建の時期は明らかではありませんが、かなり古い時代に長野県の諏訪大社から祭神(建御名方命・たけみ

の本殿覆屋の棟札が納められています。境内に本殿覆屋と拝幣殿があり、前方に石祠や石灯笼(文化13年・1816)があります。東側の隣接地に銅造地藏菩薩像(市指定文化財・享保20年・1735)もあります。

この本殿は、組物・虹梁・垂木・木鼻等の形式の古さからみて、16世紀後期と考えられます。墓股(かえるまた)や懸魚の形が優美で保存状態もよく、この時代の建築としては良好で、市内の社寺建築の中でもきわだっています。(野里 伊藤鉄夫)

なかのみこと)を勧請したと考えられます。本殿内に安永8年(1799)の修理棟札と、宝暦10年(1760)

出典:袖ヶ浦の建造物

## 図書室からのお知らせ



**7/17～8/26 まで図書室内の一部の席を  
自習につかえます**



- 自習に使える日  
火曜日から金曜日
- 利用時間  
午前9時から午後5時まで  
(最長2時間まで)
- その他  
公民館ロビーにも自習席が用意してあります。

## おもな行事予定



### 8月

- 6日(金) 夏季愛のパトロール 19:00～
- 17日(火) ひらおか子ども教室 18:30～  
「天体望遠鏡で土星や木星を見てみよう」
- 20日(金) 夏季愛のパトロール 19:00
- 21日(土) 国際理解セミナー10:00～  
「日本人がびっくりする10のこと～イタリア～」
- 27日(金) わくわく女性倶楽部 10:00～  
「ハーブ～緑の薬箱を活用しよう～」